

勉誠社

美術史学会 会員様対象 特別割引のご案内

全品 **20%OFF**

割引クーポンコード: 1c2bc8966c
(期限: ~2026年6月30日)

謹啓

薫風の候、日頃より、弊社をお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。
さて、この度、会員様対象の特別割引セールを行うことになりました。
当リストの新刊書籍をはじめ、勉誠社タイトル全品が対象となります。
この機会にぜひともご購入をご検討くださいますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

謹白

●ご注文について

- 弊社ウェブサイトよりご注文を承ります。

<https://bensei.jp>

各種クレジットカード、paypal(クレジットカード・デビットカード)でのご決済が可能です。
ぜひご利用くださいませ。

割引クーポンコード: 1c2bc8966c (期限: ~2026年6月30日)

こちらの10ケタの英数字を、必ずご入力ください!

未入力の場合、割引が適用されず、定価でのご請求となります。ご了承ください。

- メール添付、FAX、電話でもお受けしております。
ご氏名・ご住所・電話番号・公費/私費の区別・公費の場合は必要書類・宛名・日付の有無をお知らせください。
- 送料
6,000円(税込)未満の購入 → 送料 600円
6,000円(税込)以上の購入 → 送料無料
(※海外への配送に関しては、実費を頂戴します)

***ウェブサイト以外の方法によるご注文の際は、
美術史学会の会員であることをお知らせください。***

●ご連絡先

Mail info@bensei.jp

電話 03-5215-9021

FAX 03-5215-9025

【勉誠社】研究書 近刊・新刊書籍リスト

・黄色マーカーの書籍は、展示しております。
 ・割引価格は、学会大会会場等での現金販売時の価格です（定価の2割引額の十の位を四捨五入した金額）。
 公費支払い等の後払い、弊社ウェブサイトでのご注文の場合は、定価の2割引での販売となります。ご了承くださいませようお願いいたします。

	書名	著者名	刊行年月	ISBN	定価(税込)	割引価格	注文数
近刊	プロパガンダのデザイン—十五年戦争期の画家と図案家	田島奈都子 編著	2026/07	37021-5	予価16,500	予価13,200	
近刊	デジタルアーカイブの権利処理入門	数藤雅彦 責任編集／小山紘一・川野智弘・酒井麻千子・鈴木康平 編	2026/06	30025-0	3,850	3,100	
近刊	舞楽図の近世的展開—形成・変奏・復古	古谷美也子 著	2026/06	37024-6	9,900	7,900	
	学校司書のお仕事	大橋崇行 著／有山裕美子 監修	2026/04	30023-6	1,980	1,600	
	「文人画」と近代—概念・中国絵画史学・国画	李趙雪 著	2026/04	37026-0	11,000	8,800	
	戦国合戦図屏風・絵巻を読む	堀新 編	2026/03	32082-1	14,300	11,400	
	歴史学の見方・考え方—研究の舞台裏	高橋宏明・宮間純一 編	2026/03	32092-0	2,200	1,800	
	日本宗教文化史の射程	吉原浩人 監修／鈴木英之・平沢卓也・崔鵬偉 編	2026/03	31027-3	9,900	7,900	
	国策紙芝居からみる日本の戦争Ⅱ	神奈川大学非文字資料研究センター「戦時下国策紙芝居と大衆メディアの研究」班 編著	2026/03	37025-3	11,000	8,800	
	絵画史料を読む—中世・近世の生活文化史	齊藤研一 著	2026/03	32090-6	4,620	3,700	
	歌謡と芸態—在原業平の表象	児玉絵里子 著	2026/01	37023-9	4,180	3,300	
	鷹狩の日本史 増補改訂版	福田千鶴・武井弘一 編	2025/12	32069-2	4,620	3,700	
	黎明期の活字出版—和装活版本から文学書肆春陽堂の成立	山田俊治 著	2025/12	39051-0	6,600	5,300	
	洛中洛外図屏風の歴史学—歴博甲本から吉川史料館本まで	大塚活美 著	2025/11	32074-6	13,200	10,600	
	文化財を未来につなぐ博物館と学芸員の仕事—学芸員をめざす人へ	高木徳郎 編著	2025/11	30022-9	3,080	2,500	
	江戸時代の図説事典 訓蒙図彙	小林祥次郎 解題	2025/10	30019-9	11,000	8,800	
	和様と唐様の建築史学	野村俊一 編著	2025/07	35004-0	8,800	7,000	
	徳川美術館蔵「遊楽図屏風（相応寺屏風）」は語る—将軍家光の政治と「邸内遊楽図」の誕生	黒田日出男 著	2025/07	32068-5	4,180	3,300	
	デジタルアーカイブ入門—つかう・つくる・支える	柳与志夫・渡邊英徳 責任編集	2025/06	30015-1	4,620	3,700	
	増補改訂版 道教美術の可能性	齋藤龍一・鈴木健郎・土屋昌明 編	2025/04	37019-2	3,300	2,600	
	茶の湯の文化史	五味文彦 著	2025/03	32060-9	2,640	2,100	
	〈絵語り〉の日本中世	井上泰 著	2025/03	37013-0	9,900	7,900	
	帝鑑図と帝鑑図説—日本における勸戒画の受容	小助川元太・薬師寺君子・野田麻美・水野裕史 編	2024/11	37017-8	16,500	13,200	
	デジタル時代のコレクション論（デジタルアーカイブ・ベーシックス）	中村覚・逢坂裕紀子 責任編集	2024/10	30304-6	3,850	3,100	
	源氏絵研究の最前線	稲本万里子 編著	2024/10	37016-1	14,300	11,400	
	アーカイブズ学入門	国文学研究資料館 編	2024/07	30012-0	3,080	2,500	
	社寺建築を知るための用語集—日本の歴史的建築を考える	濱島正士 著／文化財建造物保存技術協会 編集協力	2024/06	35003-3	4,180	3,300	
	和紙を科学する 製紙技術・繊維分析・文化財修復	大川昭典 著	2024/06	35002-6	4,620	3,700	
	増補改訂版 図像学入門—疑問符で読む日本美術	山本陽子 著	2024/04	37014-7	2,640	2,100	
	「見える」ものや「見えない」ものをあらわす—東アジアの思想・文物・藝術	外村中・稲本泰生 編	2024/03	37012-3	15,400	12,300	
	器と信仰—東アジアの舍利莊嚴をめぐる美術史・考古学からのアプローチ	加島勝 編	2024/03	32041-8	16,500	13,200	
	コレクションと歴史意識—十九世紀日本のメディア受容と「好古家」のまなざし	古畑侑亮 著	2024/02	32038-8	11,000	8,800	
	本 かたちと文化—古典籍・近代文献の見方・楽しみ方	国文学研究資料館 編	2024/02	30011-3	3,080	2,500	
	日本近世史入門—ようこそ研究の世界へ！【重版出来！】	上野大輔・清水光明・三ツ松誠・吉村雅美	2024/02	32034-0	4,180	3,300	
	訂正新版 図説 書誌学—古典籍を学ぶ	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 編	2023/12	30010-6	3,850	3,100	
	紙のレンズがひらく古典籍・絵画の世界	江南和幸・佐藤悟・横井孝（新コディコロジー研究会） 編	2023/11	39036-7	4,950	4,000	
	重要文化財 東福寺五百羅漢図 修理と研究	石川登志雄 編	2023/10	37010-9	24,200	19,400	
	物語る仏教絵画—童子・死・聖地	山本陽子 著	2023/10	37011-6	11,000	8,800	
	機巧の文化史 異聞—海を渡った三台のからくり人形	村上和夫 著	2023/08	32031-9	4,950	4,000	
	輞川図と蘭亭曲水図—イメージとテキストの交響	野田麻美・静岡県立美術館 編	2023/05	37009-3	10,450	8,400	
	もやもや日本近代美術—境界を揺るがす視覚イメージ	増野恵子・安松みゆき・河田明久・志邨匠子・瀧井直子・奥間政作・石井香絵 編	2022/12	37004-8	5,280	4,200	
	上杉本洛中洛外図屏風の研究—桑実寺縁起絵巻と共に	小谷量子 著	2022/09	32020-3	9,900	7,900	
	コレクションとアーカイブ—東アジア美術研究の可能性	板倉聖哲・塚本磨充 編	2022/01	37000-0	10,450	8,400	
	デジタルアーカイブ・ベーシックス4 アートシーンを支える	高野明彦 監修／嘉村哲郎 責任編集	2020/12	20284-4	2,750	2,200	
	アーネスト・サトウと蔵書の行方—『増補浮世絵類考』の来歴をめぐる	小山騰 著	2020/11	20078-9	4,620	3,700	
	日本画の所在—東アジアの視点から	北澤憲昭・古田亮 編	2020/04	27055-3	7,150	5,700	

日本の表装と修理	岩崎奈緒子・中野慎之・森道彦・横内裕人 編	2020/03	20073-4	7,700	6,200
日本の文化財—守り、伝えていくための理念と実践	池田寿 著	2019/03	20064-2	3,520	2,800
木口木版のメディア史—近代日本のヴィジュアルコミュニケーション	人間文化研究機構 国文学研究資料館 編	2018/03	27048-5	8,800	7,000
国策紙芝居からみる日本の戦争	神奈川大学日本常民文化研究所非文字資料研究センター「戦時下日本の大衆メディア」研究班 代表・安田常雄 編著	2018/03	27044-7	6,600	5,300
紙の日本史—古典と絵巻物が伝える文化遺産	池田寿 著	2017/06	22176-0	2,640	2,100
鳥獣戯画 修理から見えてきた世界—国宝 鳥獣人物戯画修理報告書	高山寺 監修/京都国立博物館 編	2016/09	27025-6	11,000	8,800
プロパガンダ・ポスターにみる日本の戦争—135枚が映し出す真実	田島奈都子 編著	2016/07	27031-7	3,080	2,500
書誌学入門—古典籍を見る・知る・読む	堀川貴司 著	2010/04	20001-7	1,980	1,600
アジア遊学271 儒教思想と絵画—東アジアの勸戒画	水野裕史 編	2022/06	32517-8	3,520	2,800
アジア遊学306 建築とオリジナル 創造・継承・解釈	赤澤真理・加藤悠希・米澤貴紀 編	2025/08	32552-9	4,180	3,300
アジア遊学303 瓦から探る中世寺院	中世瓦研究会 編	2025/05	32549-9	3,300	2,600
アジア遊学301 描かれた法華経—本法寺蔵「法華経曼荼羅図」の時空	原口志津子 編	2025/03	32547-5	3,300	2,600
アジア遊学300 性なる仏教	大谷由香 編	2025/01	32546-8	3,080	2,500
アジア遊学297 廃墟の文化史	木下華子・山本聡美・渡邊裕美子 編	2024/10	32543-7	3,300	2,600
アジア遊学296 天文文化の視点—星を軸に文化を語る	松浦清・真貝寿明 編	2024/10	32542-0	3,850	3,100
アジア遊学295 蘇州版画—東アジア印刷芸術の革新と東西交	青木隆幸・板倉聖哲・小林宏光 編	2024/09	32541-3	3,520	2,800
アジア遊学269 近代中国美術の境界—越境する作品、交錯する藝術家	瀧本弘之・戦暁梅 編	2022/05	32515-4	3,850	3,100
書物学 第33巻 蔵書家・集書家・書誌学者—蔵書・研究とその時代	編集部 編	2025/12	30733-4	2,200	1,800
書物学 第32巻 チリメン絵—ゴッホを魅了した知られざる出版文化	編集部 編	2025/11	30732-7	2,200	1,800
書物学 第29巻 蔦屋重三郎と日本の出版文化 蔦重手引草	編集部 編	2025/08	30729-7	2,200	1,800
書物学 第28巻 相国寺—寺宝が伝える歴史と信仰	相国寺承天閣美術館 編	2025/08	30728-0	2,200	1,800
書物学 第26巻 古筆見の仕事—真偽の先にあるもの	編集部 編	2025/02	30726-6	2,200	1,800
書物学 第24巻 100年くらい前の本づくり—近代日本の製本技術	編集部 編	2023/04	30723-5	2,200	1,800
書物学 第23巻 文化財をつなぐひと・もの・わざ—香雪美術館書画コレクションを支える装潢修理の世界	編集部 編	2023/04	30724-2	1,980	1,600
中国の舞台	伊藤茂・中山文 著	2026/03	37027-7	5,940	4,800
ラジオの技術・産業の百年史 増補改訂版—大衆メディアの誕生と変遷	岡部匡伸 著	2026/02	32081-4	7,700	6,200
高木東六バリ音楽留学日記—1928年~1931年	藤井浩基 著	2025/12	37022-2	12,100	9,700
宋代中国都市の形態と構造 新装版	伊原弘 著	2025/10	32079-1	4,950	4,000
新装版 近世蔵書文化論 地域〈知〉の形成と社会	工藤航平 著	2025/10	32075-3	8,800	7,000
書物学 第31巻 100年後も手に取れる本に！—日比谷図書文化館「内田嘉吉文庫」の保存・修復・活用	編集部 編	2025/10	30731-0	2,200	1,800
書物学 第27巻 近代製本の100年—明治・大正・昭和	編集部 編	2025/04	30727-3	2,200	1,800
中国の女性演劇—越劇とジェンダー	中山文 著	2025/03	37018-5	8,250	6,600
道教文化と日本—陰陽道・神道・修験道	日本道教学会 編	2025/03	31020-4	4,180	3,300
新装版 日本建築の歴史的評価とその保存	山岸常人 著	2024/08	32052-4	18700	15,000
古文書修復講座—歴史資料の継承のために	神奈川大学日本常民文化研究所 監修/関口博巨 編	2024/03	32035-7	4180	3,300
楷書の秘密—「字様」が発見されるまで	西原一幸 著	2024/02	38005-4	4,180	3,300
泰山諸神の信仰の展開—東岳大帝から碧霞元君へ	二ノ宮聡 著	2024/01	31018-1	8,800	7,000
増補改訂 江戸の異性装者たち—セクシュアルマイノリティの理解のために	長島淳子 著	2023/12	32033-3	3,520	2,800
中国古典文学に描かれた廁・井戸・簪（オンデマンド版）—民俗学的視点に基づく考察	山崎藍 著	2023/12	89200-7	9,900	7,900
アジア遊学285 渾沌と革新の明治文化—文学・美術における新旧対立と連続性	井上泰至 編	2023/08	32531-4	3,080	2,500
野村太一郎の狂言入門	野村太一郎・杉山和也 著	2023/07	37005-5	3,080	2,500
近世戯作の〈近代〉（オンデマンド版）—継承と断絶の出版文化史	山本和明 著	2023/07	99174-8	9,900	7,900
霊峰の文化史—世界遺産・富士山と世界の山岳信仰	秋道智彌 著	2023/05	33005-9	3,520	2,800
二世紀の川劇—文化資源化の視点から	江玉 著	2023/03	37007-9	7,480	6,000
デジタルアーカイブの新展開	時実象一 著	2023/03	30009-0	2,310	1,800
古代日本の儀礼と音楽・芸能—場の論理から奏楽の脈絡を読む	平間充子 著	2023/02	37006-2	11,000	8,800

	フェイク・スペクトラム—文学における〈嘘〉の諸相	納富信留・明星聖子 編	2023/01	39015-2	3,520	2,800	
	伝達と変容の日本建築史—伝わるかたち／伝えるわざ	野村俊一 編	2022/07	35001-9	3,850	3,100	
	奈良絵本『太平記』の世界—永青文庫所蔵『絵入太平記』全挿絵影印ならびに研究	中根千絵・森田貴之 編	2022/03	39007-7	55,000	44,000	
	ことば・ほとけ・図像の交響—法会・儀礼とアーカイヴ	近本謙介 編	2022/03	31009-9	13,200	10,600	
	宗教遺産テキスト学の創成	木俣元一・近本謙介 編	2022/03	31008-2	16,500	13,200	
	中国道教美術史 漢魏晋南北朝篇	李松 著／土屋昌明・齋藤龍一 監訳／廣瀬直記・熊坂聡美・因幡聡美 訳	2022/02	37001-7	38,500	30,800	
	アジア遊学265 宗教芸能としての能楽	高橋悠介 編	2022/01	32511-6	3,300	2,600	
	合戦図 描かれた〈武〉	中根千絵・薄田大輔 編	2021/12	32013-5	17,600	14,100	
	アジア遊学262 資料論がひらく軍記・合戦図の世界—理文融合型資料論と史学・文学の交差	井上泰至 編	2021/10	32508-6	3,520	2,800	
	パブリック・ヒストリー入門—開かれた歴史学への挑戦（オンデマンド版）	菅豊・北條勝貴 編	2021/05	82254-7	5,280	4,200	
	日本の図書館建築—建築からプロジェクトへ	五十嵐太郎・李明喜 編	2021/03	20074-1	3,850	3,100	
	戦国合戦図屏風の歴史学	高橋修 著	2021/02	22301-6	9,900	7,900	
	観相の文化史	相田満 著	2021/02	29203-6	9,900	7,900	
	戦国合戦図屏風の歴史学	高橋修 著	2021/02	22301-6	9,900	7,900	
	古文書への招待	日本古文書学会 編	2021/01	22277-4	3,300	2,600	
	【デジタルアーカイブ・ベーシックス4】 アートシーンを支える	高野明彦 監修／嘉村哲郎 責任編集	2020/12	20284-4	2,750	2,200	
	医学・科学・博物 東アジア古典籍の世界	陳捷 編	2020/02	20072-7	13,200	10,600	
	歴博甲本洛中洛外図屏風の研究	小谷量子 著	2020/02	22257-6	11,000	8,800	
	日本建築の歴史的評価とその保存	山岸常人 著	2020/02	22268-2	18,700	15,000	
	描かれたマカオ Images of Macau—ダーウェント・コレクションにみる東西交流の歴史 East-West Exchange and the Derwent Collection	貴志俊彦・朱益宜・黄淑薇 (Toshihiko Kishi, Cindy Yik-yi Chu, Suk Mei Irene Wong) 編	2020/02	22262-0	24,200	19,400	
	【デジタルアーカイブ・ベーシックス1】 権利処理と法の実務	福井健策 監修／数藤雅彦 責任編集	2019/03	20281-3	2,750	2,200	
僅少	出版文化のなかの浮世絵	鈴木俊幸 編	2017/10	27042-3	4,180	3,300	
僅少	G・E・モリソンと近代東アジア—東洋学の形成と東洋文庫の蔵書	公益財団法人 東洋文庫 監修／岡本隆司 編	2017/09	22189-0	3,080	2,500	
	古文書料紙論叢	湯山賢一 編	2017/06	22184-5	18,700	15,000	
僅少	詩的言語と絵画—ことばはイメージを表現できるか	今野真二 著	2017/05	28034-7	3,080	2,500	
	文化財としてのガラス乾板—写真が紡ぎなおす歴史像	久留島典子・高橋則英・山家浩樹 編	2017/04	22173-9	4,180	3,300	
僅少	鉄形蕙斎画 近世職人尽絵詞—江戸の職人と風俗を読み解く	大高洋司・大久保純一・小島道裕 編	2017/02	27038-6	16,500	13,200	
	東京復興写真集1945～46—文化社がみた焼跡からの再起	東京大空襲・戦災資料センター 監修／山辺昌彦・井上祐子 編	2016/07	27028-7	11,000	8,800	
	地域と人びとをささえる資料—古文書からプランクトンまで	神奈川地域資料保全ネットワーク 編	2016/05	22150-0	3,850	3,100	
	決定版 広島原爆写真集 The Collection of Hiroshima Atomic bomb Photographs	「反核・写真運動」 監修／小松健一・新藤健一 編	2015/08	27023-2	2,750	2,200	
	決定版 長崎原爆写真集 The Collection of Nagasaki Atomic bomb Photographs	「反核・写真運動」 監修／小松健一・新藤健一 編	2015/08	27024-9	2,750	2,200	
	アジア学の宝庫、東洋文庫—東洋学の史料と研究	東洋文庫 編	2015/03	20030-7	3,080	2,500	
僅少	テキストとイメージを編む—出版文化の日仏交流	林洋子／クリストフ・マルケ 編	2015/02	27021-8	5,280	4,200	
	決定版 東京空襲写真集—アメリカ軍の無差別爆撃による被害記録	早乙女勝元 監修／東京大空襲・戦災資料センター 編	2015/01	27019-5	13,200	10,600	
	カラー百科 写真と古図で見る 狂言七十番	田口和夫 編	2014/11	27017-1	3,520	2,800	
	図説 よりすぐり国立国会図書館—竹取物語から坂本龍馬直筆まで	国立国会図書館 編	2014/10	20029-1	3,080	2,500	
僅少	【国文学研究資料館影印叢書6】 狂言絵 彩色やまと絵	国文学研究資料館 編／小林健二 解説	2014/05	29068-1	14,300	11,400	
僅少	ちりめん本影印集成 日本昔噺輯篇	中野幸一・榎本千賀 編	2014/03	20027-7	110,000	88,000	
僅少	前田育徳会尊経閣文庫所蔵 七十一番職人歌合	公益財団法人 前田育徳会尊経閣文庫 編	2014/03	22075-6	27,500	22,000	
	地域と文化財—ボランティア活動と文化財保護	渡邊明義 編	2013/03	22503-4	3,740	3,000	
僅少	薄雲御所 慈受院門跡 所蔵 大織冠絵巻	恋田知子 釈文・解説	2010/04	27000-3	11,000	8,800	
	和紙のすばらしさ—日本・韓国・中国への製紙行脚	ダード・ハンター 著／久米康生 訳 (和紙文化研究会代表)	2009/08	03247-2	3,080	2,500	
	古代製紙の歴史と技術	ダード・ハンター 著／久米康生 訳 (和紙文化研究会代表)	2009/08	03246-5	5,500	4,400	
僅少	文化財と古文書学—筆跡論	湯山賢一 編	2009/04	03232-8	3,960	3,200	
僅少	歴史知識学ことはじめ	横山伊徳・石川徹也 編著	2009/03	00306-9	1,870	1,500	
僅少	【甦る絵巻・絵本】 鎌倉英勝寺所蔵 大黒舞絵巻	木村千鶴子・八木意知男 解説／吉田とよ子・吉田宏美 英訳	2006/10	00322-9	13,200	10,600	

稲本万里子
〔編著〕

恵泉女学園大学教授。専門は日本美術史。著書に『源氏絵の系譜―平安時代から現代まで』（森活社、二〇一八）、論文に「幻の『源氏物語絵巻』の制作背景再考」（恵泉女学園大学紀要二九、二〇一七）、「若紫巻の源氏絵」（河添房江・松本大編『源氏物語を読むための25章』武蔵野書院、二〇二三）などがある。

源氏絵研究の最前線



『源氏物語』を絵画化した作品である源氏絵は、平安時代から現代に至るまで数多く制作された。これらは、歴史上、天皇や公家、武家、あるいは寺院の僧侶たちの私的な空間を彩る絵であったため、彼らの生活を知るためには、欠くことのできない作品である。そして、その制作には土佐派や狩野派などさまざまな流派が関わり、流派を超えた同時代の潮流や、あるいは時代を超えた流派ごとの様式展開を知るための重要な事例でもある。

絵巻や扇、画帖、屏風など、さまざまな形で残されてきた作品を、美術史、建築史、日本文学などの知見より時代別に考察。

さらには、AIやVRなどを駆使した最先端の研究や展示方法に関する最新成果も収載。

日本古典文化の中心にある『源氏物語』の絵画の世界を多角的視点から解剖した必備の一冊。

図版点数三六〇点超！

第一部 源氏絵の諸相

- 第一章…平安時代
- 第二章…室町時代
- 第三章…桃山・江戸時代
- 第四章…源氏絵の拡がり

第二部 AIとVR

- 第一章…デジタル画像
- 第二章…AI
- 第三章…VR

- 四辻秀紀 龍澤 彩 青木慎一
- 鷺頭 桂 三宅秀和 赤澤真理
- 片桐弥生 本田光子
- 高岸 輝 水野裕史

- 鴨木年泰 Xiaoran Hu
- 鈴木親彦 津野駿幸
- 加藤拓也 横田優治
- 小長谷明彦 小倉絵里子

表裏面●詳細目次



定価 14,300円・本体13,000円
A5判上製カバー装・488頁
202410月刊行
ISBN978-4-585-37016-1 C3071

書名

源氏絵研究の最前線
稲本万里子〔編著〕

定価 14,300円・本体13,000円
A5判上製カバー装・488頁
202410月刊行
ISBN978-4-585-37016-1 C3071

冊数

冊

ご送付先ご住所（通信欄）

序言◎稲本万里子

第一部 源氏絵の諸相

第一章 平安時代

国宝源氏物語絵巻の保存と修理の過程◎四辻秀紀

第二章 室町時代

集められた扇絵——九州国立博物館所蔵「扇面画帖」の裏面からわかること◎鷺頭 桂

九州国立博物館蔵「扇面画帖」中の源氏絵扇面について——制作年代と筆者の問題を中心に◎片桐弥生

源氏絵の中世から近世へ——ハーバード大学美術館所蔵「源氏物語画帖」と土佐光信の構図◎高岸 輝

十七世紀の源氏物語絵巻に見る源氏絵の諸相◎龍澤 彩

第三章 桃山・江戸時代

永徳期・光信期狩野派の源氏絵への挑戦——皇居三の丸尚蔵館所蔵の源氏物語図屏風を中心に◎三宅秀和

東京富士美術館所蔵の源氏物語図屏風について——狩野光信様式の源氏絵として◎三宅秀和

土佐光則筆「源氏物語画帖」(任天堂株式会社蔵)の特色と位置づけ——場面選択と図様からの検討◎片桐弥生

土佐光起の源氏絵図様——正当性と新規性◎本田光子

伝土佐光起「土佐派色紙絵付源氏物語」(永青文庫蔵)◎水野裕史

土佐派系工房による二つの源氏絵——「源氏物語画帖」(長崎・個人蔵)と「源氏物語団扇画帖」(国文学研究資料館蔵)◎本田光子

第四章 源氏絵の拡がり

源氏絵の鷹狩描写から鷹狩図へ——小品画から大画面への転換◎水野裕史

幻の「源氏物語絵巻」の詞書本文について——賢木第一巻の検討から◎青木慎一

建築史の中の「源氏物語」——同時代の住宅像と考証学のあいだ◎赤澤真理

近世源氏物語絵が描こうとした王朝の世界——住吉具慶筆「源氏物語絵巻」(MIHO MUSEUM蔵)にみる貴族住宅・浴外・遊興の表現を通して◎赤澤真理

楽奏の場としての平安建築——『うつほ物語』「源氏物語」に示された御遊の空間構成◎赤澤真理

第二部 AIとVR

第一章 デジタル画像

公開と非公開の狭間、作品画像のオープン化をめぐる諸課題と最新動向——ジャパンサーチの活用によって期待される新しい展開◎鴨木年泰

III. Curaton Platform が美術史にもたらす「細部」と「再現性」——絵入本・絵巻の作品比較を事例に◎鈴木親彦

第二章 AI

深層学習による幻の「源氏物語絵巻」の流派推定に関する考察——AI技術による「絵師の流派」概念の再構築◎稲本万里子・加藤拓也・小長谷明彦

流派推定の思考回路——深層学習による幻の「源氏物語絵巻」と岩佐派の源氏絵の分類結果を手がかりに◎稲本万里子

深層学習によるくずし字の認識——「源氏物語絵巻」桐壺巻の詞書への検証◎小長谷明彦・Xiaoran Hu・稲本万里子

第三章 VR

東京富士美術館が取り組んできたデジタル鑑賞ツール事例紹介——みどころルーペ、名画ナビゲーション・システム、VR鹿秋草時絵硯箱、VR源氏物語図屏風◎鴨木年泰

灯明の炎と金箔の反射を再現する「VR源氏物語図屏風」の美術展示作品としての価値創造に関する考察◎小長谷明彦・津野駿幸・稲本万里子

『源氏物語』の世界のVR化——VR球面上での遠近表現における樹木と金雲の有用性について◎小長谷明彦・横田優治・稲本万里子

源氏絵データベース研究会のあゆみ◎小倉絵里子

あとがき◎稲本万里子

初出一覧

「カラー口絵に掲載した源氏絵」

- 1 徳川美術館蔵「源氏物語絵巻」柏木三
- 2 九州国立博物館蔵「扇面画帖」揚弓図
- 3 九州国立博物館蔵「扇面画帖」紅梅・若菜下
- 4 ハーバード大学美術館蔵「源氏物語画帖」玉鬘
- 5 ハーバード大学美術館蔵「源氏物語画帖」滯標
- 6 毛利博物館蔵「源氏物語絵巻」御法
- 7 東京富士美術館蔵「源氏物語図屏風」桐壺・胡蝶
- 8 永青文庫蔵「土佐派色紙絵付源氏物語」桐壺・末摘花
- 9 個人蔵「源氏物語画帖」帚木
- 10 国文学研究資料館蔵「源氏物語団扇画帖」東屋
- 11 メトロポリタン美術館蔵「源氏物語絵巻」賢木

器と信仰

東アジアの舍利莊嚴をめぐる 美術史・考古学からのアプローチ

釈迦の遺骨として、アジア各地で篤い信仰を集める「舍利」。

その容れ物である舍利容器は、特定の用途を持つ器形や、

別の文脈で意味を成した図像が複合的に組み合わされ、舍利を莊嚴する器として仕立て上げられた。

それゆえ、「器のかたち」——どこで、どのような器の形状・素材・図様が採用されてきたのかという問題は、

「舍利の意味」——舍利が各地域の社会において

どのような存在として受容されたのかということと相関関係を有している。

十数年にわたり行われた中国・日本・韓国・ベトナムの現地調査を礎とした、

舍利及びその莊嚴に関する最新の知見を三部十四本の論考により提示。

また、資料編では、現地調査にて得られた作例の基礎データ、

また、舍利莊嚴における大きな画期である仁寿舍利塔の網羅的調査記録を提示、貴重な画像資料も収載した。

美術史学界・考古学界のみならず、日本及び東洋の文化史に関わる領域に広く寄与する画期的成果。

カラー口絵
はじめに……加島勝

◎研究編

第1部

●中国・シルクロードにおける舍利容器の形式変遷について……加島勝 ●中国における棺形舍利容器とそのモデル……岡林孝作
●北魏～隋唐時代の舍利埋納方式——地宮・天宮の変遷と舍利容器の組合せを中心に……冉万里

第2部

●隋代における舍利埋納制度について……冉万里 ●仁寿舍利塔の思想と舍利容器……長岡龍作 ●神徳寺石函の図様表現と特色……泉武夫
●隋時代の舍利容器……加島勝 ●臨潼慶山寺舍利地宮壁画試論……楊效俊 ●法王寺2号塔地宮の出土品について……松本伸之 ●扶風法門寺塔の4つの真身舍利と舍利容器……大島幸代

第3部

●法身としての舍利と容れ物——仁寿舍利塔から大仏へ……長岡龍作
●ベトナムクン省トアンタイ県スアンクアン出土の隋仁寿元年舍利石函と舍利塔銘——交州龍編県禪衆寺舍利石函と塔銘調査記……冉万里
●万安禅院石窟西奥壁の仏涅槃図・金棺出現図浮彫等についての概報……泉武夫 ●飛鳥時代の舍利信仰における一側面……岡林孝作

◎資料編

●仁寿元年の第一次仁寿舍利塔に関する資料集成……大島幸代

◆資料集成

岐州鳳泉寺／雍州仙遊寺／嵩州嵩岳寺／秦州岱岳寺／華州思賢寺／衡州衡岳寺／定州恒岳寺／鄭州法講寺／牟州巨神山寺
吳州会稽山寺／同州大興國寺蒲州栖巖寺蘇州虎丘山寺／涇州大興國寺／并州無量壽寺／相州大慈寺／襄州大興國寺／隋州智門寺／益州法聚寺／秦州靜念寺
揚州西寺／鄭州定覺寺／青州勝福寺／亳州開寂寺／汝州興世寺／瓜州崇教寺／番州靈鷲山寺／桂州綠化寺／交州禪衆寺／蔣州栖霞寺
●崇福寺塔心礎納置品の材質調査について……加島勝

◆拓本・碑銘

「拓本」神徳寺石函線刻／山東青州勝福寺「碑銘」重修広福寺記／瑞応寺再葬仏舍利碑／結九品往生社碑
●海外現地調査日誌 2001～2019……岡林孝作・加島勝

あとがき……加島勝

加島勝

（編）

（かしま・まさる）一九五六年生まれ。大正大学名誉教授・特選教授、東京国立博物館名誉館員。博士（文学）。専門は仏教工芸史。著書に『柄香炉と水瓶』（日本の美術）五四〇号、ぎょうせい、二〇一一年、『日中古代仏教工芸史研究』（雄山閣、二〇一六年）、『平泉の文化史3 中尊寺の仏教美術彫刻・絵画・工芸』（共著、吉川弘文館、二〇二一年）などがある。

定価 16,500円・本体15,000円
B5判上製カバー装・460頁
2024年3月刊行
ISBN978-4-585-32041-8 C3020

<p>書名</p> <h1>器と信仰</h1> <p>加島勝（編）</p> <p>東アジアの舍利莊嚴をめぐる 美術史・考古学からのアプローチ</p>	<p>冊数</p> <p>定価 16,500円・本体15,000円 B5判上製カバー装・460頁 2024年3月刊行 ISBN978-4-585-32041-8 C3020</p> <p>冊</p>
<p>ご送付先ご住所（通信欄）</p>	

〈編者〉
外村中
稲本泰生

「見える」ものや 「見えない」ものを あらわす

東アジアの 思想・ 文物・ 藝術

本書の構成

- 第一部 祭祀・墓葬と「見える」もの「見えない」もの
第二部 尊像の誕生
第三部 仏菩薩の姿と「時間」「過程」の表象
第四部 仏身と世界観——盧舎那仏の形と意味
第五部 音を「見せる」／姿を「留める」
第六部 仏菩薩の顕現する場
第七部 「見えない」ものを「とらえる」——付会と図解
第八部 諸教交渉と「見える」もの「見えない」もの
第九部 「見える」「見えない」現象の主体／連鎖するイメージ

「見える／見えない」を論じること、それらを描き出すこと——
宗教や思想、藝術などの人間の営みは、
このことが大変重要かつ普遍的なテーマであることを示している。
東アジアの文物や藝術を解釈する上での共通の基盤の形成をめざすために、
「見えるもの／見えないもの」にまつわる理論や事象について、
従来分野の枠組をこえて国際的にかつ学際的に探求。
宗教・思想をはじめ、考古遺物から彫刻絵画、
建築庭園、芸能音楽などにまで及ぶ様々な論点を、
最先端の研究者二十四名の視角により提示する画期的論集。

執筆者一覧

古勝隆一 向井佑介
森下章司 内記理
魏藝 折山桂子
田中健一 中西俊英
船山徹 高橋早紀子
大平理紗 黄盼
倉本尚徳 瀧朝子
増記隆介 塚本明日香
横手裕 福谷彬
西谷功 重田みち
清水健 吳孟晋

定価 15,400円・本体14,000円
B5判上製カバー装・744頁(+口絵2頁)
2024年3月刊行
ISBN978-4-585-37012-3 C3071

書名	冊数
「見える」ものや「見えない」ものをあらわす 東アジアの思想・文物・藝術 外村中・稲本泰生(編)	冊
ご送付先ご住所(通信欄)	

株式会社 勉誠社

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 <http://bensei.jp/>

FAX ● 03-5215-9025

重要文化財

東福寺

ごひやく
らかんす

五百羅漢図

修理と研究

石川登志雄 編



「画聖」と称された
室町期を代表する
絵仏師・明兆の
超大作「五百羅漢図」。

もくじ

刊行にあたって 大本山東福寺管長……原田融道

● 図版編

修理後写真／東福寺本・根津美術館本

第五〇号写真／エルミタージュ美術館本

修理工程写真／東福寺本・根津美術館本

五百羅漢図下絵写真／東福寺
第五〇号復元模写写真

● 各論編

保存修理事業の概要

明兆筆五百羅漢図序論……綿田稔

五百羅漢図軸木銘文にみる制作と修理の諸問題……石川登志雄

明兆筆五百羅漢図をめぐる諸問題……高橋真作

東福寺の再興と明兆……森道彦

羅漢供祭文について……日種真子

五百羅漢図修理の特殊性……画期的な合同修理事業を振り返る……岡岩太郎

● コラム編

1 修理前調査にみる現状と修理の要点……竹上幸宏

2 本紙表面からの補綴方法の模索……伊加田剛史

3 解体修理における肌裏紙の除去と永徳二年銘文の発見……小島知英

4 新肌裏紙の色調整について……佐味義之

5 五百羅漢図の復元模写……富澤千砂子

● 資料編

五百羅漢図軸木銘文集

五百羅漢図修理関係年表

五百羅漢図関係史料
五百羅漢図修理一覧

編集後記……石川登志雄

（しかわ・としお）一九五五年生まれ。京都府教育委員会文化財保護課技術職員、京都造形芸術大学芸術学部歴史遺産学科学准教授、京都産業大学文化学部教授を経て、現在、同客員教授。主な著書に『平等院鳳凰堂と浄土院』監修及び執筆、二〇二二年など。

大本山東福寺所蔵の四十七幅及び根津美術館所蔵の二幅についての十六年の長期にわたる保存修理の成果、さらに長らく所在不明とされてきたが、近年、ロシア・エルミタージュ美術館に所蔵されていることが明らかになった第五〇号を大判のカラー図版により掲載。また、調査の過程により見出された新知見、装潢修理における試行錯誤の成果を示した論考・コラム、諸種の資料も収載し、これまで全貌が未紹介であった東福寺五百羅漢図の研究に重要な材料を提供する。

日本文化史・美術史・仏教史・文化財学をはじめ諸分野に益する矚目すべき一書！

定価二四、二〇〇円（税込）

本体二二、〇〇〇円（+税）

二〇二三年十月刊行

B4判変型上製カバー装・二七六頁

ISBN978-4-585-37010-9 C3071

<p>書名</p> <p>重要文化財東福寺五百羅漢図</p> <p>——修理と研究</p> <p>石川登志雄＝編</p>	<p>冊数</p> <p>冊</p>
<p>ご送付先ご住所（通信欄）</p>	

定価24,200円(税込)

本体22,000円(+税)

2023年10月刊行

B4判変型上製カバー装・276頁

ISBN978-4-585-37010-9 C3071

株式会社**勉誠社**
(勉誠出版)

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠出版宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 <https://bensei.jp/>

FAX●03-5215-9025

物語る仏教絵画

童子・死・聖地

◎ 目次

はじめに

序 神を見ることと描くこと——石清水八幡宮の事例を中心に

第一部 仏画と垂迹画における童子像

——神の家の小公達

- 一 粉河寺の童男行者信仰——フリア美術館蔵伝聖徳太子修業像を中心に
春日の赤童子信仰
- 二 三童形の日吉十禪師像
- 三 熊野曼荼羅の切目王子——神々のヒエラルキー
- 四 越前系の白山垂迹曼荼羅——遊行寺本と国上神社本
- 五 第一部まとめ——童子像は借用され、読み替えられ、まとめられる

第二部 死をめぐる図像

- 一 ボストン美術館本菩提樹像は何を表すものか
 - 二 法華寺蔵阿弥陀三尊及童子図はどのように掛けられたか
 - 三 金戒光明寺蔵地獄極楽図屏風はどのように使われたか
 - 四 聖衆来迎寺本六道絵「天道」幅の主人公は誰か
補論 天人から天女へ——なぜ五衰の天人が女性とされるようになったのか
 - 五 聖衆来迎寺本六道絵人道不浄相幅はなぜ女性なのか
 - 六 聖衆来迎寺本六道絵人道不浄相幅と
九州国立博物館本九相図巻の噺相は何に基づいたか
 - 七 長岳寺蔵六道十王図に天道は描かれていないのか
斜め構図の兜率天曼荼羅図がなぜ描かれたのか
——延命寺本と根津美術館本を中心に
- 第二部まとめ——鎌倉時代、死の文化は多様に展開する

第三部 中国の靈山信仰から日本へ

——観音と靈地信仰

- 一 長沙馬王堆漢墓出土の帛画はなぜT字形状か
 - 二 須彌山石とは何を表したのか——水源伝説としての崑崙山
補論 日本における三山信仰——三山もしくは三峯という構成の根拠は何か
 - 三 水月観音図の創作にどのような先行図様が引用されたか
 - 四 フリア本地蔵十王図と伏羅陀山地蔵図様はどのように成立したか
 - 五 雲乗の十一面観音図様とはどのような意味なのか
 - 六 宮曼荼羅になぜ参詣人が出現したか——普陀山図の影響を考える
補論 粉河寺蔵「南海名山普陀勝境圖」と中国における普陀山図の展開
- 第三部まとめ——現実の靈地に伝説の聖地を重ねる

おわりに

図版出典一覧／初出一覧／索引



山本陽子 [著]

なぜ特異な
仏画が
作られたのか

日本中世において数多く制作された仏教絵画のなかで、類例のない図様を持ち、制作当時とは異なる名称で呼ばれたり、別の信仰の文脈で語られてきたりした経緯をもつ、特異な仏画が存在する。

これらはどのような意図で制作され、何を意味しているのか。そして、なぜ多種多様な形態や伝説を持っているのか。とりわけ「童子・死・聖地」にまつわるこれらの仏画や垂迹画を丹念に読み解き、図像的特徴や成立背景、制作意図を明らかにする。

さらに、これらの仏教絵画が制作された時点における、伝承や説話からの影響関係、受容の様相を探る。

美術史学・説話文学・民俗学研究など隣接諸学に寄与する研究成果。

図版289点掲載！

◎ 著者プロフィール

山本陽子 (やまもと・ようこ)

明星大学教育学部教授。専門は日本中世絵画史。

著書に『絵巻における神と天皇の表現——見えぬように描く』（中央公論美術出版、二〇〇六年）、『絵巻の図像学——「絵そらごと」の表現と発想』（勉誠出版、二〇一二年）、『図像学入門——疑問符で読む日本美術』（勉誠出版、二〇一五年）、『はじめの日本美術史』（山川出版社、二〇一八年）などがある。

書名	部数
物語る仏教絵画 童子・死・聖地 山本陽子 [著]	定価 11,000 円(本体 10,000 円) A5判・上製カバー装・616頁 ISBN978-4-585-37011-6 C3071 2023年10月刊行
ご送付先ご住所・氏名（通信欄）	

本書は『図像学入門——疑問符で読む日本美術』
(2015年11月刊行)の増補改訂版です。



増補改訂版

図像学入門

疑問符で読む日本美術

観音にはひげがある？

なぜ絵巻は右から左へみるの？

写生画が写真ではない？

絵画や仏像などのさまざまな疑問・謎を

図像解釈学(イコノロジー)から探り、
日本美術の新しい楽しみ方を提案する。

大日如来、幽霊の絵、麗子像など
8つのトピックを追加し、増補改訂版として刊行。

もくじ？

- 第1章 釈迦の生涯——仏像の基本
 - 第2章 仏像の種類——4つのタイプ
 - 第3章 曼荼羅——密教世界の地図
 - 第4章 六道輪廻と浄土——人は死んだらどこへゆく？
 - 第5章 神々のすがた
 - 第6章 人のかたち——肖像と似会にせえ
 - 第7章 絵巻物——物語を絵にする
 - 第8章 山水画と花鳥画——神仏でも人でもないもの
 - 第9章 浮世絵
 - 第10章 西洋絵画と日本
- ついでのはなし

山本陽子 著



(やまもと・ようこ) 1955年東京都生まれ。早稲田大学大学院文学研究科(美術史)博士課程後期単位取得。博士(文学)。明星大学教育学部教授。専門は日本中世絵画史。著書に『絵巻における神と天皇の表現——見えぬように描く』(中央公論美術出版、2006年)、『絵巻の図像学——「絵そらごと」の表現と発想』(勉誠出版、2012年)、『図像学入門——疑問符で読む日本美術』(勉誠出版、2015年)、『はじめての日本美術史』(山川出版社、2018年)、『物語る仏教絵画——童子・死・聖地』(勉誠社、2023年)など。

定価 2,640円・本体2,400円
四六判並製カバー装・272頁
2024年4月刊行
ISBN978-4-585-37014-7 C0071

書名	冊数
増補改訂版 図像学入門 疑問符で読む日本美術 山本陽子〈著〉	冊
ご送付先ご住所(通信欄)	

株式会社 勉誠社

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 <http://bensei.jp/>

FAX ● 03-5215-9025

戦国合戦図屏風・ 絵巻を読む

堀新〈編〉

「ぼりしん」其立女子大学教授。専門は日本中世・近世史。著書に『織豊期王権論』（校倉書房、二〇一一年）、「豊臣秀吉の古文書」(山本博文・曾根勇二共編、柏書房、二〇一五年)、「信長徹底解説」(井上泰至共編、文学通信、二〇二〇年)などがある。

江戸時代以降の制作が大多数である戦国合戦図・絵巻は、歴史学において「二次史料」と軽視され、美術史的にも注目されることは少なかった。

しかし、近年、歴史学・美術史・文学などのジャンルを超えた総合的な知見より、戦国合戦図の資料的意義・価値を捉え直す機運が高まっている。

戦国合戦図は我々に何を伝えているのか——
現物調査、そして高精度カメラによる撮影データを駆使し、各所に残された合戦図屏風・絵巻を細部まで検討。また、それらの絵画資料を総合的に見渡すことにより、諸ジャンルをまたいだ十九の視角から合戦図屏風・絵巻を読み解く。

図版掲載点数約二〇〇点！

《カラー図絵》

- 1 大原御幸図屏風(馬の博物館蔵)
- 2 長久手・長篠合戦図屏風(成瀬本・白帝文庫蔵)「長久手合戦図屏風」
- 3 長久手・長篠合戦図屏風(成瀬本・白帝文庫蔵)「長篠合戦図屏風」
- 4 合戦図屏風(岡田美術館蔵)右隻「三月十二日合戦図」
- 5 合戦図屏風(岡田美術館蔵)左隻「三井寺合戦図」
- 6 戦国合戦図屏風(個人蔵)右隻
- 7 戦国合戦図屏風(個人蔵)左隻
- 8 賤ヶ岳合戦図屏風(大阪城天守閣蔵)右隻
- 9 賤ヶ岳合戦図屏風(大阪城天守閣蔵)左隻
- 10 名護屋城図屏風(佐賀県立名護屋城博物館蔵)
- 11 大坂夏の陣図屏風(大阪城天守閣蔵)黒田屏風(右隻)
- 12 大坂夏の陣図屏風(大阪城天守閣蔵)黒田屏風(左隻)
- 13 大坂夏の陣図屏風(泰巖歴史美術館蔵)右隻
- 14 大坂夏の陣図屏風(泰巖歴史美術館蔵)左隻
- 15 狩野探幽筆「一ノ谷合戦」二度之懸図屏風(静岡県立美術館蔵)

序論 戦国合戦図研究のあゆみ——「黒田屏風」を中心に……堀新

第一部 中世合戦絵巻から戦国合戦図の成立

第二部 戦国合戦と合戦図

第三部 戦国合戦と合戦図

第四部 合戦図と軍記の展開

あとがき……堀新

執筆者一覧

高岸輝	金子拓	堀新	薄田大輔
出口久徳	小口康仁	湯浅佳子	曾根勇二
黒田智	岡野有里香	米田結華	遠藤珠紀
高橋修	光成準治	堀智博	吉岡由哲
山本聡美	佐島頭子	井上泰至	

定価 14,300円・本体13,000円
B5判・上製・カバー装・448頁
2026年2月刊行
ISBN978-4-585-32082-1 C3021

書名	冊数
戦国合戦図屏風・ 絵巻を読む 堀新〈編〉	冊
定価 14,300円・本体13,000円 B5判・上製・カバー装・448頁 2026年2月刊行 ISBN978-4-585-32082-1 C3021	
ご氏名／ご送付先ご住所（通信欄）	

洛中洛外図屏風の歴史学

歴博甲本から
吉川史料館本まで

定価 13,200円・本体12,000円
A5判・上製カバー装・2025年12月刊行
736頁+カラー口絵4頁(予定)
ISBN978-4-585-32074-6 C3021

洛中洛外図屏風についての既発表論文十七本を最新の知見より改訂し、研究史、名称、成立背景、受容と伝来、系統分類、景観年代、金雲の形状、貼り札について考察した新稿など十六本を加えた、研究の集大成。室町時代後期の洛中洛外図のみならず、江戸時代前期・中期の作品も取り上げ、洛中洛外図屏風を体系的に明らかにする。関連作品を網羅した作品一覧、貼り札のある作品の文字を書き起こした貼り札一覧も収載。歴史学、美術史、建築学、文化史など広く隣接分野に寄与する画期的成果。

カラー口絵／まえがき

第一部 洛中洛外図屏風とは何か

●第一章：江戸時代の洛中洛外図の研究状況 ●第二章：洛中洛外図の名称について ●第三章：江戸時代の洛中洛外図の受容と伝来 ●コラム：貿易品としての洛中洛外図 ●第四章：洛中洛外図の系統分類方法 — 研究の視点について ●第五章：洛中洛外図の景観年代の指標について ●第六章：洛中洛外図の金雲について ●第七章：洛中洛外図の貼り札について

第二部 室町時代後期の洛中洛外図屏風

●第一章：上杉本洛中洛外図成立の一試論 — 輿に乗る貴人 ●第二章：洛中洛外図にみる下京の暮らし ●第三章：洛中洛外図にみる京郊村落

第三部 江戸時代前期の洛中洛外図屏風(一)

●第一章：江戸時代の洛中洛外図 ●第二章：江戸時代の洛中洛外図の主題と構図について — 二条城前の行列を手掛かりに ●第三章：林原美術館本洛中洛外図の構図と主題と発注者 — 室町期・江戸期の洛中洛外図屏風との関係を通して ●第四章：林原美術館本洛中洛外図と同一工房の作品について ●第五章：堺市博物館本系統洛中洛外図について — 耕三寺博物館本の紹介を兼ねて ●第六章：林家本系統洛中洛外図について

第四部 江戸時代前期の洛中洛外図屏風(二)

●第一章：舟木本洛中洛外図の構想について — 「当閨白」の牛車を手掛かりに ●第二章：「舟木本洛中洛外図」再考 ●第三章：司馬家本系統洛中洛外図について ●第四章：根津美術館本洛中洛外図の特徴と制作について ●コラム：洛中洛外図にみる伏見城

第五部 江戸時代中・後期の洛中洛外図屏風

●第一章：佛教大本系統洛中洛外図について — 甲群、乙群、丙群の三つの系統 ●第二章：住吉具慶本洛中洛外図作品群の描写内容と特徴 — 江戸時代中期の洛中洛外図屏風の研究 ●第三章：住吉具慶筆洛中洛外図の構想について — 生類憐みとの関係 ●第四章：洛中洛外図屏風歴博F本の位置付けについて ●第五章：渡辺美術館本系統洛中洛外図について ●第六章：朝鮮通信使行列を描くポストーン美術館本洛中洛外図について — 天和三年の将軍献上屏風の可能性 ●第七章：吉川本洛中洛外図の制作背景 — 歌人宣阿と「陰徳太平記」との関係

展示批評 企画展示「洛中洛外図屏風と風俗画」

●付論一：「都百景」の制作と構成について — 描かれた幕末の京都 ●付論二：京都舎密局の写真事業 — 公文書と写真資料から ●終章：まとめと課題
洛中洛外図屏風の貼り札／図版出典一覧／初出一覧／あとがき…洛中洛外図の研究を振り返って／索引

大塚活美

〔著〕
一九五九年、滋賀県に生まれる。立命館大学文学部史学科日本史専攻を卒業後、一九八二年より京都府に学芸員として勤務(京都府立総合資料館、京都文化博物館、京都学・歴史館)。その間に佛教大学歴史学科修士課程を修了。認定アークヒスト。退職後は京都府立大学非常勤講師、滋賀県高島市と竜王町の文化財保護審議会委員。主な著書に「日本歴史地名大系 滋賀県の地名」(共著、平凡社、一九九二年二月)、「図説安倍晴明と陰陽道」(共著、河出書房新社、二〇〇四年八月)、「石の文化財から探る滋賀の歴史」(サンライズ出版、二〇二四年)などがある。

書名	冊数
洛中洛外図屏風の歴史学 ——歴博甲本から吉川史料館本まで 大塚活美〔著〕	定価 13,200円・本体12,000円 A5判・上製カバー装・2025年12月刊行 736頁+カラー口絵4頁(予定) ISBN978-4-585-32074-6 C3021
ご氏名／ご送付先ご住所 (通信欄)	

黒田日出男〔著〕

徳川美術館蔵

遊楽図屏風

(相応寺屏風)

は語る

将軍家光の政治と「邸内遊楽図」の誕生

絵画を見る眼が変わり、
歴史のイメージが一変する
第一級の知的エンターテインメント！

宏壮・豪華な邸宅における遊楽・遊興が描かれ、
遊びに興じている人物たちのさまざまな姿が表現される「邸内遊楽図」。
江戸時代初期に流行し、多くの作品が残されたが、
なかでも徳川美術館蔵「遊楽図屏風(相応寺屏風)」は
最優品として知られる近世風俗画の逸品である。
その左隻の豪華な邸宅を枝楼・遊廓・遊里とみる見解が
定説となつてからすでに五十年近くになる。
しかし、この定説は間違っているのではないか？
そもそも相応寺屏風は、きちんと読解されてこなかったのではないか？
注文主は何者か、屏風はいつ、誰に贈られたのか――
屏風に描かれた画像の細部を綿密かつ多面的に読み解くことで、
そこに隠されたメッセージを浮かび上がらせ、
本作品が将軍家光の時代にどのように生まれてきたのかを明らかにする。

「遊楽図屏風」全編のカラー画像および
詳細なトレース図を収載！

ゆうらく・ず・びょうぶ

一九四三年生まれ。東京大学名誉教授。文学博士。専門は日本中世・近世史、絵画史料論・
歴史図像学。著書に『豊国祭礼図を読む』『洛中洛外図・舟木本を読む』『江戸図屏風の謎を解く』
(以上、角川選書)、『増補』絵画史料で歴史を読む(ちくま学芸文庫)、『岩佐又兵衛と松
平忠直』(岩波現代全書)、『謎解き洛中洛外図』(龍の棲む日本) (以上、岩波新書) など多数。



定価4,180円・本体3,800円
A5判・上製カバー装・386頁
2025年6月刊行
ISBN978-4-585-32068-5 C1021

- カラー口絵 徳川美術館蔵「相応寺(遊楽図)屏風」
右隻・左隻全図
- 巻頭図版 徳川美術館蔵「相応寺(遊楽図)屏風」
右隻・左隻全図トレース図(制作：鴈野佳世子)
- プロローグ 遊楽図屏風は何を物語るのか？
- 第I章 「相応寺屏風」の研究史
――論じられ方とその問題点――
- 第II章 「相応寺屏風」右隻の読解
――花見の酒宴とその主人公――
- 第III章 「相応寺屏風」左隻の読解
――宏壮な大名下屋敷で遊楽する人々――
- 《補論》 「下屋敷」をめぐる二、三の論点
- 第IV章 「相応寺屏風」の注文主と享受者
――浅野長晟と徳川義直の妻春姫――
- エピソード 尾張徳川家当主義直の
妻春姫の江戸居住と「相応寺屏風」
- 主要参考文献／邸内遊楽図屏風のリスト／あとがき

<p>書名</p> <p>徳川美術館蔵「遊楽図屏風(相応寺)」は語る 将軍家光の政治と「邸内遊楽図」の誕生</p>	<p>冊数</p> <p>黒田日出男〔著〕</p> <p>定価4,180円・本体3,800円 A5判・上製カバー装・386頁 2025年6月刊行 ISBN978-4-585-32068-5 C1021</p>	<p>冊数</p> <p>冊</p>
<p>ご送付先ご住所(通信欄)</p>		

斉藤研一

〔著〕

さいとうけんいち 立正大学文学部史学科特任准教授。専門は日本中世史、生活文化史。主な著書に「子どもの中世史」(吉川弘文館、二〇〇三年)、論文に「イズメ―中世末期の風俗図屏風に描かれた育児用具」(立正大学文学部論叢「一四四号」二〇二二年)、「カニが雷神を扶む、カマキリが雷神に挑む―諺で読む『戯画図巻』」(齋藤真麻理編「戯画図巻」の世界―競う神仏、遊ぶ賢人」KADOKAWA、二〇二四年)などがある。

絵画史料を 読む

絵画史料を
読むための

実践入門書!

絵画史料が語る中世・近世の人々の暮らしと心性

疫病が流行した時、人々はどんな行動をとったのか。女性たちは、日々どんな仕事をしていたのか。酒呑童子絵巻から読み取れることは何か。そして幕末の錦絵に描かれた朝比奈義秀とは。暖簾や看板、酒宴の様子や、人と動物の関わりなど、絵巻物や洛中洛外図に描かれた図像を比較・検討し、共通点や差異、変化を読み解き、その時代を生きた人々の生活の様相、考え方を明らかにする。

はじめに

1 疫病と法師陰陽師―『春日権現験記絵』巻八第二段を読む

●はじめに●疫病●鬼は外●法師陰陽師と紙冠●門戸にて●病人の姿●疫神の襲来●『唯識論』の発見●おわりに
〔補論1〕鉢巻

2 洗濯革命―「足踏み洗い」から「手揉み洗い」へ

●はじめに●絵画史料によるアプローチ●絵巻に見る洗濯●洗濯方法の変化●洗濯方法が変わった要因●おわりに
3 働く女性たち

●絵巻に描かれた働く女性●職人歌合に描かれた働く女性●青屋の女性とイズメ

4 暖簾・看板・そして井戸―初期洛中洛外図屏風の図像

●はじめに●描かれた暖簾●描かれた看板●職人の姿あれこれ●町屋の裏に描かれた井戸●結びにかえて
〔補論2〕蜈蚣(ムカデ)

5 酒宴の風景

●はじめに●室内での酒宴●人道(人間界)の酒宴●野外での酒宴●桜の折枝●おわりに
6 捕獲・加工・消費される動物たち

●『粉河寺縁起絵巻』―捕獲・加工・消費が描かれた絵巻●捕獲―描かれた狩猟と漁撈
●戦国期の狩猟図―鷹と馬●加工―皮を張る●消費―台所に描かれた動物●流通―店頭で売られる動物

7 酒呑童子の首が大路を渡る

●はじめに●三人の少年たち●四人の男たち●首を運ぶ●おわりに
〔補論3〕チェスター・ビーター・ライブラリー所蔵「天江山絵巻」解題

8 「朝比奈島遊び」を読む

●歌舞伎の朝比奈●朝比奈と小人●異国の巨人●異国の小人●横浜開港

おわりに

図版出典一覧／初出一覧



『信貴山縁起絵巻』尼公巻(模本、国立国会図書館蔵)

定価4,620円・本体4,200円
四六判・上製カバー装・352頁
2026年3月刊行
ISBN978-4-585-32090-6 C1021

定価4,620円・本体4,200円
四六判・上製カバー装・352頁
2026年3月刊行
ISBN978-4-585-32090-6 C1021

書名

絵画史料を読む―中世・近世の生活文化史

斉藤研一(著)

冊数

冊

ご氏名／ご送付先ご住所(通信欄)

株式会社勉誠社

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 <https://bensei.jp/>

FAX●03-5215-9025



舞楽図の近世的展開

ぶがくしず

八世紀に律令国家の成立とともに国家の儀礼を荘厳するものとして制度化され、以来、現在に至るまで千三百年以上にわたり、わが国の宮中行事や主要な神社の法会などで催されてきた舞を伴う音楽である舞楽。この舞楽を独立した画題とする「舞楽図」には、

曲目ごとの舞人・楽人あるいは舞楽が催される情景などが描かれている。舞姿や装束など故実の記録画でもあり、王朝文化の象徴ともいえる舞楽図は、近世期の武家社会においてどのように受容され、武家の文化として浸透し、そしてどのようにやまと絵の一画題として広まっていったのか。

中世末から近世後期までの舞楽図の作例を順に取り上げ、描かれた舞楽の様相と制作背景、そして同時代の社会背景に目を向けながら、その変遷を考察する。

カラー口絵／凡例／序論

第一部 形成

第一章 源氏物語と舞楽図——土佐光信筆「源氏物語画帖」

第二部 変奏

第二章 近世初期舞楽の再興と醍醐寺——依屋宗達筆「舞楽図屏風」

第三章 徳川將軍家と舞楽——日光山輪王寺蔵「舞楽図屏風」

第四章 大名と舞楽図——久隅守景筆「舞楽図屏風」

第五章 出雲大社の舞楽再興——落合利兵衛筆「舞楽図屏風」

第六章 継承された粉本——松平定信と「古面舞楽図」

第七章 近世後期舞楽図の復古と新たな系譜

史料

参考資料1 東京文化財研究所蔵成立目録記載の舞楽図一覽

参考資料2 「舞楽図屏風」(桃翁筆本)曲目一覽

参考資料3 「舞楽図屏風」(A家本)曲目一覽

舞楽図関連年表(中世～近世)

参考文献／あとがき

定価 9,900円・本体9,000円
A5判上製・カバー装・400頁
2026年6月刊行
ISBN978-4-585-37024-6 C3071



(ふるや・みやこ) 国立音楽大学卒業。筑波大学大学院博士後期課程修了。博士(芸術学)。現在、小山市立軍屋美術館学芸員。昭和女子大学非常勤講師。主な論文に「天倉孫兵衛と大日本物産図会——制作背景についての考察」(筑波大学附属図書館蔵三代歌川広重画「大日本物産図会」調査報告論文集二〇一七年)、「日光山輪王寺蔵舞楽図屏風」についての「考察」(藝叢三十四号、二〇一九年)、「ハーヴァード大学美術館蔵源氏物語画帖の舞楽場面について」(風俗史学七十号、二〇二〇年)、「近世後期やまと絵の画題と朝儀再興——石清水臨時祭を例に」(藝叢三十八号、二〇二三年)などがある。

古谷美也子(著)

書名	冊数
舞楽図の近世的展開——形成・変奏・復古 古谷美也子(著)	定価 9,900円・本体9,000円 A5判上製・カバー装・400頁 2026年6月刊行 ISBN978-4-585-37024-6 C3071
ご氏名／ご送付先ご住所(通信欄)	

小助川元太・薬師寺君子・野田麻美・水野裕史 Ⅱ編

帝鑑図

と

ていかんずと
ていかんずせつ

帝鑑図説

日本における 勸戒画の受容



狩野山楽
「帝鑑図押絵貼屏風」
(部分)
(東京国立博物館)

古来、中国および東アジアにおいては、為政者がいかにあるべきかを説くために、他者や過去の出来事を鑑として戒めとすべき

手本を示した「勸戒画(鑑戒画)」が利用されてきた。

なかでも中国帝王にまつわる故事を取り上げたものは「帝鑑図」と称され、屏風や障壁画など室礼や儀礼空間の荘厳として、また、挿絵として物語と共に『帝鑑図説』として版本化され、東アジアの文化の基底として大きな影響を与えてきた。本書では、日本における帝鑑図・帝鑑図説の諸作品を

美術史・文学研究の第一線の視点より、多角的に考察。

通説を再検討し、「帝鑑図」とは何か、という基本的な定義を問い直す画期的成果。

豊富な図版資料また国内作品の網羅的リストも具備した、

東アジア文化史研究における必携の一冊！

●編者プロフィール
小助川元太(すけがわ がんた)愛媛大学教育学部教授。専門は中世日本文学。
薬師寺君子(やくしじきみ)東京文化財研究所客員研究員。専門は日本近世美術史。
野田麻美(のだあさみ)神戸大学大学院人文学研究科専任講師。専門は日本美術史・近世絵画。
水野裕史(みずの ゆうじ)筑波大学芸術系准教授。専門は日本美術史。

まえがき 「帝鑑図」研究の最新線……小助川元太

資料編

カラー口絵

- 狩野山楽「帝鑑図押絵貼屏風」(東京国立博物館)
- 伝狩野山楽「帝鑑図屏風」(永青文庫)
- 狩野探幽他「帝鑑図屏風」(東京国立博物館)
- 狩野甚丞「帝鑑図屏風」(個人蔵)
- 狩野宗眼重信「帝鑑図・咸陽宮図屏風」(静岡県立美術館)
- 「帝鑑図屏風」(九州国立博物館)
- 「帝鑑図」(名古屋城本丸御殿)(名古屋城総合事務所)
- 「帝鑑図説」慶長版(一部) (国立公文書館内閣文庫)

モノクロ資料

- 「帝鑑図説」慶長版並びに万暦版全挿図及び解説……小助川元太
- 「帝鑑図説」慶長版並びに寛永版翻刻……小助川元太
- 「中国帝王の記憶すべき事蹟」(弘文「帝鑑図説」全挿図及び解説……井川義次

解題編

- 帝鑑図押絵貼屏風 狩野山楽 東京国立博物館……野田麻美
- 帝鑑図屏風 永青文庫(熊本県立美術館寄託)……金子由史
- 帝鑑図屏風 狩野探幽他 東京国立博物館……水野裕史
- 帝鑑図屏風 狩野甚丞 個人蔵……野田麻美
- 帝鑑図・咸陽宮図屏風 狩野宗眼重信 静岡県立美術館……野田麻美
- 帝鑑図屏風 九州国立博物館……鷲頭桂
- 帝鑑図(名古屋城本丸御殿) 名古屋城総合事務所……朝日美砂子
- 帝鑑図説……小助川元太

論考編

帝鑑図

- 総論 帝鑑図……薬師寺君子
- 狩野派の帝鑑図再考……野田麻美
- 御殿空間における名古屋城本丸御殿上洛殿の帝鑑図障壁画……朝日美砂子
- 帝鑑図と権力……松島仁
- 帝鑑図と儒教……水野裕史
- 「コラム」帝鑑図の画料……水野裕史

帝鑑図説

- 総論 帝鑑図説……小助川元太
- 万暦帝、張居正と「帝鑑図説」……林麗江・尾川明穂
- 豊田秀頼と「帝鑑図説」……榎田千鶴
- 「帝鑑図説」の出版文化……通説と近年の研究傾向を問い直す……藤實久美子
- 「コラム」帝鑑図……入口敦志
- ヨーロッパにおける「帝鑑図説」……フランス革命勃発の起爆剤?……井川義次

附録

- 帝鑑図事例一覧
- 「帝鑑図説」事例一覧(国内中心・一部海外機関)
- 主要参考文献
- あとがき……水野裕史
- 執筆者紹介

定価 16,500円・本体15,000円
A4判上製カバー装・400頁
2024年11月刊行
ISBN978-4-585-37017-8 C3071

書名	冊数
帝鑑図と帝鑑図説——日本における勸戒画の受容 小助川元太・薬師寺君子・野田麻美・水野裕史(編)	冊

定価 16,500円・本体15,000円
A4判上製カバー装・448頁
2024年11月刊行
ISBN978-4-585-37017-8 C3071

ご送付先ご住所(通信欄)

株式会社勉誠社

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 <https://bensei.jp/>

FAX●03-5215-9025

水野裕史 [編]

アジア遊学 271

儒教思想と絵画

東アジアの勸戒画

かんかいが

人びとの思想や生活において、
絵画はどのように機能し、展開していったのか――

古来、絵画は、ひとつ鑑賞の目的のみならず、
そこに描かれた題材や物語から、

あるべき生き方、做すべき考え方を学び、
自らを顧みるための装置として存在していた。

特に東アジアにおいては、
中国を淵源とする儒教思想に基づき、
善行を勧め、悪行を戒めるために描かれた

『勸戒画(かんかいが)』がひろく作成され、
それらは、いまなお

各地に多種多様な作品として伝存している。
古代から近代における『勸戒画』の諸相を

多角的に考察、作品が生まれ、受容された時代の
思想・文化を捉えなおすとともに、

時代を超えて、見る者の「鑑」となる
美術作品の力を再認識する刺激的な一冊。

編者プロフィール

水野裕史

(みずの ゆうじ) 筑波大学芸術系助教。専門は日本美術史。
論文に「狩野永納筆『秀吉鷹狩絵巻』下絵と勸修寺家(二)」「アルテ・三三三号、九州藝術学会(二〇一七年)」「Symbol of Power: Japanese Falconry Images (8th to 17th centuries). Raptor on the first falconry, its imagery and similar motifs throughout the millennia on a global scale. Wachholtz Verlag GmbH, 2020」

「鷹狩の絵画――近世初期における鷹狩への眼差し」(福田千鶴・武井弘一 編)『鷹狩の日本史』勉誠出版、二〇二一年)などがある。

目次

カラー口絵

序文 水野裕史

総説―勸戒画の系譜…水野裕史

1部 勸戒画の成立

勸戒のシンボル―礼拝空間における孔子祭祀のあり方…守屋正彦

漢代画像石にみる儒教的モチーフ

―墓域という空間におけるその機能…植山満照

女史箴図が語るもの…森橋なつみ

大英博物館所蔵の報恩経变相 Steam Painting 12S

―図像に関する一考察…勝木言二郎

元三大師御籤本と儒教思想―「貴人」像の考察…日高衣紅

2部 勸戒画の題材

玄宗皇帝絵にみる勸戒性―長恨歌絵を中心に…鷲頭桂

王昭君図―勸戒画への発展…中村玲

耕織図の受容と展開―足利将軍家の梁楷の画巻を中心に…畑靖紀

二十四孝図―元覚図の「葉老」と「諫め」をめぐって…宇野瑞木

仏儒道三教一致思想の絵画

―三聖図・三笑図・三酸図をめぐって…高橋真作

3部 帝王学の書と絵―帝鑑図

万曆帝、張居正と『帝鑑図説』…林麗江(尾川明穂訳)

―「帝鑑図」の変遷

―青蓮院・名古屋城・熊本城の

障壁画と仙台藩の事例から…薬師寺君子

フランス革命前夜ヨーロッパにおける『帝鑑図説』受容について…井川義次

帝鑑図と徳川将軍…松島仁

4部 勸戒画を使った人と空間

宋代皇帝と勸戒の空間―「無逸図」と「山水図」…塚本鷹充

「荘嚴」する瑞獸―将軍家光の先祖祭祀における勸戒画…山澤学

日本の文人画と勸戒(鑑戒)思想…杉本欣久

岡倉寛三(天心)の儒教美術観…林みちこ

定価 3,520 円(税込)
本体 3,200 円

A5判並製カバー装
312頁(カラー口絵8頁+本文304頁)
ISBN978-4-585-32517-8 C1370
2022年6月刊行



掲載図版
150点超!

書名	部数
儒教思想と絵画 東アジアの勸戒画 【アジア遊学 271】 水野裕史 [編]	定価 3,520 円(税込)・本体 3,200 円 A5判並製カバー装 312頁(カラー口絵8頁+本文304頁) ISBN978-4-585-32517-8 C1370 2022年6月刊行
ご送付先ご住所・氏名 (通信欄)	

蘇州版画

東アジア印刷芸術の革新と東西交流

そしゅうはんが



芸術文化の古い歴史を持ち、経済的繁栄をきわめていた17、18世紀の中国・蘇州市に生まれた「蘇州版画」。吉祥的な画題のみならず、教訓、歴史故事、名所旧跡、通俗文学や詩の絵解きなどさまざまな題材をとり上げ、当時の都市のにぎわい、市民の暮らしぶりを大きな画面に描き伝える貴重な視覚資料でもある。

技法も多彩で、濃淡の墨摺にはじまり、複数色の色刷り、さらに手彩色によって色数を増やし、また、船載された西洋銅版画などの陰影法や透視図法も積極的に応用する。これらの蘇州版画は、江戸時代には長崎に大量にもたらされ、ヨーロッパにも輸出されて宮殿の室内を飾り、美術工芸品への応用が注目されてきた。

近年新たな発見や蒐集が進み、内外で学際的な関心の対象として注目を集めている蘇州版画。中国版画史を突出して彩るその歴史と世界的広がり、国内外の第一線の論者が多数の図版を交えて明らかにする貴重な一書。

【目次】

カラー口絵

はじめに◎小林宏光

I 蘇州版画の歴史と展開

北宋時代の一枚摺と版画による複製のはじまり◎小林宏光
十八世紀蘇州版画にみる国際性◎青木隆幸
蘇州と杭州、都市図の展開から見た蘇州版画◎板倉聖哲
中国版画の末裔としての民国期ポスター

——伝統の継承と変化を中心として◎田島奈都子

蘇州版画の素材に関する科学的調査報告◎半田昌規

II 物語と蘇州版画

物語と蘇州版画 ◎大木康

將軍から聖帝へ——関羽像の変遷と三尊形式版画の成立◎小林宏光
人中の呂布と錦の马超——『三国志演義』のイケメン枠◎上原究一

蘇州版画と楊家将——物語と折りの絵図◎松浦智子

III ヨーロッパに収蔵される蘇州版画

文化の一形態としての技法——蘇州版画に「西洋を創る」◎頼毓芝(翻訳:田中伝)

十八世紀一枚摺版画の図像(花器、書斎道具、花果)の展開と、その起源となる絵画

◎アン・フアラール(翻訳:都甲さやか)

西洋宮殿と蘇州版画◎ルーシー・オリボバ(翻訳:中塚亮)

レイカム(Leykam Zimmer)の間の中国版画◎李嘯非(翻訳:張天石)

十八世紀欧州にわたった「泰西の筆法に倣った」蘇州版画について◎王小明(翻訳:中塚亮)

編集後記◎青木隆幸

アジア遊学
295定価 3,520 円
(本体 3,200 円)A5判並製カバー装
320頁(うちカラー32頁)
ISBN 978-4-585-32541-3 C1371
2024年9月刊行

書名	部数
蘇州版画 【アジア遊学295】 青木隆幸・板倉聖哲・小林宏光 [編]	部
定価3,520円(税込)・本体3,200円 A5判並製カバー装 320頁(うちカラー32頁) ISBN978-4-585-32541-3 C1371 2024年9月刊行	部
ご送付先(氏名・住所・電話番号)	

輞川図と蘭亭曲水図

イメージとテキストの交響

もうせんずとらんていきよくすいず

カラー口絵

野田麻美・ 静岡県立美術館〈編〉

東アジアにおける文学・書・画の世界を考えるうえで、
とりわけ重厚な二つの画題

——「輞川図」と「蘭亭曲水図」。

文人画の祖とされる王維、書聖として崇められる
王羲之にまつわる故事を絵画化するなかで、
園林を舞台とする文人たちの交流は、
いかにして描かれ、
その風景表現はどのように展開したのか。

二〇二一年に修理を終えた静岡県立美術館所蔵の
「輞川図巻」をはじめ、近年注目を集める「蘇州片」や、
久隅守景、池大雅、富岡鉄斎らの優品など、
中国と日本、そして、宋代から近代に至るまでの
王維・王羲之イメージを精査・検討。
諸分野の第一線の研究者による論考と
カラー図版を含む二二〇点超の書画資料より、
イメージとテキストの連環が織りなす
ダイナミックな世界を照らし出す。

編者プロフィール

野田麻美 (のだ あさみ)

一九七九年生まれ。神戸大学大学院人文学研究科専任講師。
専門は日本美術史(近世絵画)。
著書に『美しき庭園画の世界——江戸絵画にみる現実の理想郷』(静岡県立美術館、二〇一七年)、『忘れられた江戸絵画史の本流——江戸狩野派の二五〇年／江戸狩野派の古典学習——その基盤と広がり』(静岡県立美術館、二〇二二年) などがある。

第一部 輞川図をめぐる諸問題

——元々明代／近代日本の輞川図と『輞川集』

- 紺野達也 ● 絵画における王維『輞川集』——元明の画論・画評を中心に
- 呉 孟晋 ● 静岡県立美術館本からみる輞川図の展開
- 板倉聖哲 ● 模倣か空想か、複製か贋作——「蘇州片」をめぐる諸問題
- 植松瑞希 ● 明代蘇州における輞川憧憬の諸相
- 塚本磨充 ● 日本近代における南画の危機意識と「輞川図巻」・王維の再評価
——富岡鉄斎から小室翠雲まで

第二部 蘭亭曲水図をめぐる諸問題

——明代／江戸時代の蘭亭曲水図と『蘭亭序』

- 佐藤康宏 ● 蘭亭曲水図の表現——明代中期から江戸中期へ
- 横尾拓真 ● 「コラム」大雅作品に見る烹茶場面と添景について
——静岡県立美術館所蔵「蘭亭曲水・龍山勝会図屏風」を中心に
- 野田麻美 ● 久隅守景「蘭亭曲水図屏風」試論
——江戸狩野派の蘭亭曲水図にみる遊宴図像の展開

六人部克典 ● 「コラム」宋代以降の王羲之書法の継承

高橋利郎 ● 「コラム」江戸時代の「蘭亭序」

「輞川図と蘭亭曲水図」展 カラー口絵 作品解説

「輞川図と蘭亭曲水図」展 展示リスト

おわりに ● 野田麻美

書名	部数
輞川図と蘭亭曲水図 イメージとテキストの交響 野田麻美・静岡県立美術館〈編〉	部
定価 10,450円(本体価格9,500円) A5判・上製カバー装・304頁 2023年5月刊行 ISBN978-4-585-37009-3 C3701	部
ご送付先ご住所(通信欄)	

李趙雪〈著〉

南京大學美術學院特任副研究員
東洋大學國際共生社會研究中心客員研究員
専門は中国近代美術史、日中近代美術交流史概念・
中国絵画史学・
国画と
近代
文人画

ぶんじんが

定価 11,000円・本体10,000円
A5判上製・カバー装・544頁
2026年4月刊行
ISBN978-4-585-37026-0 C3071

中国の「文人画」は唐代の王維に始まるとされ、
文人士大夫が余技として描いた絵画を指す。
宮廷画院や民間絵画とは異なり、
ときに異民族支配や政治腐敗への不満も託され、
長らく中国絵画史の中軸とみなされてきた。

しかし近年、欧米や東アジアでは、この概念自体が問い直されている。
「文人画」という概念は、いつ・どこで・誰によって形成されたのか。
それは中国でどのように受容されていったのか。
今日の中国美術イメージの形成にどのような役割を果たしたのか。

近世日本の中国美術認識が近代に再編され、
日中交流を通じて共有されていった「文人画」は、
東アジアのみならず、ヨーロッパ、
さらに戦後のアメリカでの中国美術史研究にまで連動する。

大きな「中国の文人画」という問題を、
多数の図版とともに新視点から検証する意欲作。

カラー口絵／凡例

序章

第一部 「文人画」概念の登場

はじめに

第一章 日本における「文人画」概念の生成

第二章 中華民国における「文人画」概念の形成と展開

おわりに

第二部 「中国絵画史」における「文人画」の系譜

はじめに

第三章 「文人画」概念による「中国絵画史」の形成

第四章 明清の個性派画家——「文人画」系譜への編入

第五章 「文人画」絵画史の正統化——故宮コレクションを中心に

おわりに

第三部 「文人画」の表象 国画制作における新「文人画」と「新文人画」

はじめに

第六章 新「文人画」の理想構図

第七章 新「文人画」主題の黄山・黄山松

第八章 一九八九年以後の「新文人画」

—— 民国ナショナリズム期と一九四九年以後の国画

—— 現代中国における伝統の意義

おわりに

終章

あとがき

／参考文献／挿図一覧／人物略歴／索引

書名	冊数
「文人画」と近代——概念・中国絵画史学・国画 李趙雪〈著〉	冊
定価 11,000円・本体10,000円 A5判上製・カバー装・544頁 2026年4月刊行 ISBN978-4-585-37026-0 C3071	
ご氏名／ご送付先ご住所（通信欄）	

もやもや日本近代美術



定価 五、二八〇円(税込)「本体四、八〇〇円」
A5判並製・カバー装・カラー口絵一六頁・四七二頁
二〇二二年十二月刊行
ISBN978-4-585-37004-8 C1070

境界を揺るがす視覚イメージ

増野恵子 (代表)
安松みゆき
河田明久
志邨匠子
瀧井直子
奥間政作
石井香絵 [編]



誰が作ったのか?
何を描いたのか?
どこで作られたのか?
何を伝えたいのか?
稼げるのか?

それは「美術」なのか?
「美術」って何だ?

「美術」と「美術以外」の間に
引かれてきた境界線。
江戸と明治、伝統と西洋文化、
書画骨董と調度品、
東京と地方、日本と海外……
様々な「狭間」の中に生じ、
「日本近代美術史」の周辺や外部、
スキマに山積している
「もやもや」する問題を探る
画期的な一冊!

図版点数
200点超

カラー口絵

まえがき ● 増野恵子

【序章】歴史の形成と視覚イメージ——近代土下座考 ● 丹尾安典
第1部 それは美術なのか?
明治工芸で考えるオリジナリティをめぐる主従関係
——渡辺省亭・河村晴山・沼田一雅 ● 岡本隆志

毛筆習字教育の存廃をめぐる諸問題 ● 志邨匠子
近代歴史画の萌芽——国立銀行紙幣の歴史・神話イメージ ● 増野恵子

第2部 場はイメージとどうかかわるのか?
ヒトラーへの贈り物・ヒトラーからの贈り物——いびつな美術交流の様相 ● 安松みゆき
エト源次郎とスチュアート・キューリンをめぐる ● 瀧井直子

幕末明治初期京都と田村宗立考 ● 石井香絵
絵師たちの「世代わり」——琉球処分と沖繩の絵師達 ● 奥間政作

第3部 これも美術か?
近代木版職人列伝抄——杉崎掃四之助・木村徳太郎・吉田市松・伊上凡骨・
西村熊吉・村瀬錦司・斧銀太郎・漆原木虫 ● 岩切信一郎

絵葉書の戦争、掌上の帝国——恤兵・蒐集・記念 ● 向後恵里子
コマ絵雑考 ● 西山純子

命令する労働者から動員される労働者へ——プロレタリア漫画と芸術学院 ● 喜多孝臣
戦前洋画壇の生活 ● 河田明久

第4部 イメージは何をあらわしているのか?
神話的記憶と歴史的記憶——広島平和記念資料館の展示について
● ミカエル・リュケン (坂井利佐子訳)

護れ大空!——戦時日本における国民防空の視覚表現
● ジェニファー・ワイゼンフェルド (中村尚明訳)
菊花御紋考 ● 谷田博幸

あとがき ● 増野恵子・安松みゆき



書名	部数
もやもや日本近代美術 境界を揺るがす視覚イメージ 増野恵子・安松みゆき・河田明久・志邨匠子・瀧井直子・奥間政作・石井香絵 [編]	部
ご送付先ご住所 (通信欄)	部

定価 5,280円(本体価格4,800円)
A5判・並製・カバー装
カラー口絵16頁+本文 472頁
2022年12月刊行
ISBN978-4-585-37004-8 C1070

国策紙芝居からみる 日本の戦争Ⅱ

『桃太郎』や『花咲かじいさん』といったなじみのある昔話や民話を改変し、戦争における日本の正統性を子ども達に植え付け、戦意発揚を目的として作成された「国策紙芝居」。1930年代後半から日本教育紙芝居協会を中心に作成され配布された国策紙芝居は、当時、1000種類ほど作られたというが、その全体像はいまだ不明な点が多く残されている。本書は、2018年に刊行した『国策紙芝居からみる日本の戦争』未収録の、国内外に保存されている国策紙芝居287点を、あらすじとともに、フルカラーで紹介。紙芝居にかかわった人物の経験に深く潜り込みながら、その思想や意識のありようを描き、また、植民地や戦場、銃後の経験のなかで紙芝居という文化がどのように意識化されたかを考察する論考を収録。

国策紙芝居を通して、当時の戦争に対する見方や、日本を取り巻いていた状況を知ることのできる一冊。

まえがき…新垣夢乃

I 解題篇

凡例・紙芝居解題リスト
解題

II 論考篇

総論 戦時紙芝居(いわゆる「国策紙芝居」)研究の成果と課題…大串潤児
国策紙芝居にみる〈美談〉と心の戦争…原田広
紙芝居を創る人びと——戦時紙芝居論Ⅱ…大串潤児
戦時下の紙芝居は労働者をどのように描いたか
——『ひるがへる日章旗：産報画劇』における鉱山労働者の描写を事例に…松本和樹
二流の悲哀、あるいは現実から目を背けた紙芝居——戦時下における松永健哉の足跡から…鈴木一史
山口正明の紙芝居教育について——教育における「感激」の戦中と戦後…新垣夢乃
画家宮田弥太郎が描いた「華麗島」…邱昱翔

III データ篇

戦時下紙芝居全国調査【補訂版】について
戦時下紙芝居全国調査【補訂版】データ篇

執筆者一覧



定価 11,000円・本体10,000円
A4判並製・カバー装・480頁
2026年3月刊行
ISBN978-4-585-37025-3 C0070

神奈川県非文字資料研究センター「戦時下国策紙芝居と大衆メディアの研究」班——— [編著]

書名	冊数
国策紙芝居からみる日本の戦争Ⅱ 神奈川県非文字資料研究センター「戦時下国策紙芝居と大衆メディアの研究」班 [編著]	冊

ご氏名／ご送付先ご住所（通信欄）

画家による 幻のプロパガンダ・ポスターと原画を網羅!!

1931年9月18日の満州事変の勃発から、1945年8月15日の終戦記念日までの「十五年戦争」期に製作された日本製プロパガンダ・ポスターの中から、美術及びデザイン的な価値を有する作品を約250点厳選し、「デザイン」という視点で考察。

著名な画家や図案家によるポスターをはじめ、懸賞募集を経て世に出た作品を、大判のカラー図版として掲載する。さらにこれまで存在がほとんど知られてこなかったポスター用原画や、翻案元や同一図案の展開例、及び公文書や新聞記事などの関連資料も紹介。第一人者による詳細な作品解説やコラム、作家解説、年譜、参考文献も充実。美術史やデザイン史のみならず、日本史・社会史・文化史・メディア論など多分野の研究に寄与する決定版。

十五年戦争期の画家と図案家

プロパガンダの デザイン

田島奈都子 編著
TAJIMA Natsuko



予価 16,500円・本体15,000円
A4判・上製カバー装・400頁(予定)
2026年7月刊行予定
ISBN978-4-585-37021-5 C1071

青梅市立美術館学芸員。専門は近代日本のポスターを中心とするデザイン史。主な著書・編著に『明治・大正・昭和のお酒のグラフィティ サカツ・コレクションの世界』(国書刊行会、2006年)、『プロパガンダ・ポスターにみる日本の戦争—135枚が映し出す真実』(勉誠出版、2016年)、『明治・大正・昭和初期日本ポスター史大図鑑』(国書刊行会、2019年)、『ポスター万歳 百窃百笑』(文生書院、2022年)、『戦前期日本のポスター—広告宣伝と美術の間で揺れた50年』(吉川弘文館、2023年)、『百花繚乱の美人画ポスター』(芸術新聞社、2024年)などがある。

〈作品編〉

第1章——プロパガンダ・ポスターのはじまり

- ①陸軍省と今村嘉吉
- ②海軍省の広報活動

第2章——美術家とプロパガンダ・ポスター

- ①海軍省による「絵画」
- ②従軍画家たちの活躍
- ③画家以外の動員
- ④忘れられた海軍省御用達画家 松添健

第3章——懸賞募集と図案家の活躍

- ①懸賞募集の実施と当選作
- ②プロパガンダ・ポスター界の寵児1 片岡嘉量
- ③プロパガンダ・ポスター界の寵児2 岸信男

第4章——プロパガンダ・ポスターの製作における写真

- ①直接的な利用
- ②継承される下図的な利用
- ③新興写真の影響
- ④合成とコラージュ

第5章——標語ポスター

〈解説編・資料編〉

個別作品解説

作家解説

年譜

棒目録

参考文献一覧

COLUMN

- ①航空兵への道
- ②プロパガンダ・ポスターのある日常
- ③戦時債券のデザイン
- ④戦時期の印刷会社とプロパガンダ・ポスター

書名

プロパガンダのデザイン
十五年戦争期の画家と図案家
田島奈都子 編著

冊数

予価 16,500円・本体15,000円
A4判・上製カバー装・400頁(予定)
2026年7月刊行予定
ISBN978-4-585-37021-5 C1071

冊

ご氏名/ご送付先ご住所(通信欄)

株式会社 勉誠社

※上記注文書にご記入の上、お近くの書店あるいは勉誠社宛にお申し出ください。
東京都千代田区神田三崎町2-18-4 TEL.03-5215-9021 <https://bensei.jp/>

FAX 03-5215-9025